

2020年度のスケジュール

2020年度 春季特別展 放射線像/Autoradiograph —放射能を可視化する—



「Evacuation」(2018・2019年)

会期 2020年4月18日(土)～6月27日(土) (休館日 日曜日、4月30日(水)、5月6日(水)・(木))
※無料公開5月16日(土)

展示内容 2011年3月の東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が放出されました。映像作家・加賀谷雅道氏は、事故後から汚染の可視化に取り組んできた森敏氏とともに2012年より放射線像プロジェクトを開始し、見えない汚染の実態を伝える作品を発表しています。生態系への汚染の深刻さを伝える報道としての側面と汚染と向き合う現代社会を象徴する芸術としての側面を併せ持つ氏の作品は、ルモンドなど海外の雑誌にも掲載され、アルスエレクトロニカ2017栄誉賞(2017年、オーストリア)、京都国際写真祭2017富士フィルムアワード(2017年)など、世界の芸術祭で受賞しています。本展では、福島で採取した生物や日用品などの中に存在する放射性物質をオートラジオグラフィーの手法によって可視化した作品約30点と3D映像の他、撮影に使用したサンプルや調査の様子を紹介する映像を展示します。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム
協力：加賀谷雅道、森敏(東京大学名誉教授)、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭、スターチャンネル

関連企画

加賀谷雅道氏ギャラリートーク
放射能を可視化する方法とその意味について
4/18(土) 15:00-15:45
■会場：立命館大学衣笠キャンパス(京都)
国際平和ミュージアム 特別展会場

森敏氏講演会
5/9(土) 14:00-15:30 国際平和ミュージアム 2階会議室

安齋育郎氏講演会
6/13(土) 13:30-15:00 国際平和ミュージアム 1階ロビー

世界報道写真展2020 —WORLD PRESS PHOTO 20—

会期 2020年9月21日(月)・(祝)～10月10日(土) (会期中無休) **滋賀** (立命館大学びわこ・くさつキャンパス)
2020年10月12日(月)～11月3日(火)・(祝) (休館日 10/18(水)、25(水)、11/1(土)) **京都** (立命館大学国際平和ミュージアム)
2020年11月6日(金)～11月20日(金) (会期中無休) **大分** (立命館アジア太平洋大学)



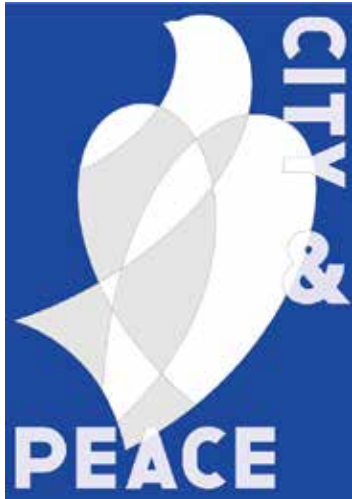
展示内容 世界報道写真展は、オランダに本部を置く世界報道写真財団が毎年開催している世界報道写真コンテスト入賞作品で構成した写真展で、今年で63回目を迎えます。立命館大学では、1995年より毎年開催しています。
この地球上で起きているあらゆる出来事を、最高の技術と取材力をもって撮影した写真は、人々に現実を強く訴える力を持っています。世界の現状を知り、いま一度、平和とは何かを考えるきっかけにさせていただきたく開催するものです。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、世界報道写真財団

※「世界報道写真展2020」開催中は、見学資料費は大人500円(個人・団体とも)になります。

世界報道写真展2019 環境の部 単写真1位
ブレント・スタートン(南アフリカ、ゲッティイメーجز)
ジンバブエのフンドゥンドゥ野生動物公園で、女性メンバーだけで構成される
反密猟武装部隊「アカシंगा」の偽装・隠蔽対策訓練に参加するペトロネラ・チグムブラ(30)。

2020年度 秋季特別展 南京国際平和ポスター・ビエンナーレ



会期 2020年11月14日(土)～12月12日(土) (休館日 日曜日、11月24日(日))
※無料公開11月14日(土)

展示内容 南京は戦争の破壊から回復した都市であり、常に平和を追求してきました。その南京では、2年に一度「南京国際平和ポスター・ビエンナーレ」が開催されています。本展では、2017年と2019年の応募作品9,740点のうち入選した735点から、約200点を選び、侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館と共同でポスター展として紹介します。言語の壁を越え、出品者の平和へのメッセージを受け取っていただければと思います。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム、侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館

「南京国際平和ポスター・ビエンナーレ」
南京のデザイナー・時澄氏がポスター展の為に創作した作品で、青と白を使って描かれた鳩が平和への思いを表現しています。

夏休み子ども企画 「へいわ」ってなに?? 2020



会期 2020年7月25日(土)

企画内容 夏休みは、ミュージアムで見て・感じて・考えて！平和について一緒に学びましょう！！
平和のお話を聞いたり、大学のお兄さん、お姉さんと一緒に平和について考えてみませんか？夏休みの自由研究にも役立つ企画を予定しています。

2019年度の夏休み子ども企画の様子

2020年度 ミニ企画展示

第132回 「中国人強制連行・強制労働と万人坑(人捨て場)」

会期 2020年6月3日(水)～6月30日(水)

主催：平和を考え行動する会

一五年戦争期に中国本土で約4千万人が強制労働させられたといわれます。そのうち1千万人近くが死亡し、万人坑(まんにんこう)とよばれる人捨て場に捨てられました。本展では、強制労働の実態と数多く現存する万人坑について紹介します。



北票炭鉱万人坑発掘現場

第133回 「京都の戦争展」

会期 2020年7月13日(月)～8月22日(土)

主催：立命館大学国際平和ミュージアム

40年にわたる京都の戦争展運動をふりかえります。

第135回 「第14回立命館附属校平和教育実践展示」

会期 2020年10月～12月

主催：立命館附属校5校

立命館学園附属5校による、各校の平和教育の成果をリレー形式で展示します。

第134回 「昭和初期の和服柄に宿る戦争」

会期 2020年9月7日(月)～9月24日(水)

主催：大高 幸 (放送大学客員准教授)

当時の世相を映した和服に描かれた戦争関連柄を紹介するとともに、今日見られる迷彩柄ファッションなどについて考えるきっかけになればと思います。

第136回 「おなじ太陽のもとで —ペルーへ日本人移民の始まり—」

会期 2021年1月 主催：ペルー人学生・卒業生協会

第137回 「第25回京都ミュージアムロード参加企画」

会期 2021年2月～3月 主催：立命館大学国際平和ミュージアム

ボランティアガイドコラム

私が初めて立命館大学国際平和ミュージアムを訪れたのは、2007年のことでした。そのころ、平和ミュージアムを活用した平和教育について研究していたのですが、ここは戦争と平和について多面的に迫っていて、平和学習に適したミュージアムだと思いました。

私は昨年春、38年間の小学校教師の生活を終えました。在職中は平和教育を自分のテーマとして実践してきましたが、退職後も平和への思いは持ち続けたいと考えました。そのときに思い出したのがこのミュージアムのことです。ホームページを調べると、ボランティアガイドの募集が出ていたので、すぐに応募しました。

研修期間には、見学者にどう接するかに苦労しました。教室でこちらに向いている子どもたちに話しかけると展示物を見ている見学者に横や後ろから話しかけるとのちがいに慣れるのに時間がかかりました。また、このミュージアムの展示の幅広さ、内容の深さに改めて驚きました。今は先輩ガイドの方から吸収しながら、展示そのものから学びながら、ガイドの活動をしています。

見学者の反応はさまざまですが、傾きながら聞いてくれたり、あ、そうかと気づきを示してくれたり、悲惨な話には顔を曇らせていたりする様子を見ると、少しでも平和学習の手助けになったかと思って、やりがいを感じます。

今の教育現場にはさまざまな課題が押し寄せ、平和教育をしようとしてもままならない状況もあります。教える側もあの戦争から遠

く離れた世代になっています。平和学習の場として、平和ミュージアムが担う役割は大きくなっているといえます。より幅広く多数の見学者を受け入れるには、ボランティアガイドの充実も必要です。少しでも関心をお持ちの方でしたら、ここに来れば研修の機会も豊富です。あなたも、ボランティアガイドをやってみませんか。

(ボランティアガイド：高見祥一)



学生スタッフ 活動記録

メディア資料室の学生スタッフの仕事は、利用者への図書レファレンスサービスや国際平和ミュージアムの収蔵資料データベース「Peace Archives」へのデータ登録・整理作業など多岐にわたります。その中でも、最も重要な作業は資料整理です。

国際平和ミュージアムは膨大な歴史資料を所蔵しています。その種類は書簡・絵葉書といった紙や金属製品、布製品など様々です。また資料の年代や状態もそれぞれです。それらを記録しておくことは、資料保存・活用をする上で欠かせません。それでは、資料整理の手順を簡単にご紹介します。

ミュージアムに資料が寄贈あるいは寄託されると、管理用の名称と番号が付けられます。ここから「資料カード」を作成するのが学生スタッフの仕事になります。資料を観察し、寸法・年代・状態を資料カードに記入していきます。このとき資料の簡単なスケッチをとり、シミや破損、虫喰いなどの被害状況を記録します。さらに資料カードには資料の概要や作成・使用した人物も記入しておきます。こうすることで、カードを見るだけで資料の状態を把握することができます。

次に資料を撮影し、資料カードに画像を印刷します。また撮影した画像は「Peace Archives」にもアップロードします。こうして出来上がったカードは別の学生スタッフが点検し、問題がなければ「Peace Archives」に情報が入力されます。この過程を経て、資料は決められた収蔵場所に保管されます。

メディア資料室編

以上が学生スタッフの資料整理の作業になります。この作業は展示やイベントなど、ミュージアムが提供するサービスの根幹となります。「資料カード」を作成する際に、資料をよく観察します。現在とは全く異なる社会構造や価値観、あるいは資料に込められた人々の思いに触れることとなります。それらを記録することに責任感とやりがいを感じます。またこの資料整理の作業を通じて、「戦争」について知らなかった一面を学ぶことがあります。そして仕事をすることで、「平和」とは何なのか改めて考えています。

最後に、メディア資料室には図書資料やAV資料を取りそろえています。来館された際はぜひ、こちらにも訪れていただくと幸いです。

(学生スタッフ：横瀬沙耶)



第130回「世界一貧しい元大統領から学ぶ“本当の豊かさ”」

会期 2020年4月1日(木)～4月28日(木)

主催：岩本 心 (立命館大学文学部)

展示内容 「世界一貧しい大統領」として知られる、ウルグアイ元大統領ホセ・ムヒカ氏。政治から身を引いた今も質素な暮らしを続けています。小さな応接間で語る彼の周りには、眩しい笑顔が溢れていました。「本当の幸せ」とは何か、ムヒカ氏の言葉から考えます。



「ムヒカ氏と私」2019年7月撮影

第131回「US～学生が見たロヒンギャ～」

会期 2020年5月2日(土)～5月29日(金)

主催：立命館大学新聞社

展示内容 「今世紀最大の人権侵害」ともいわれるロヒンギャ問題。バングラデシュ～ミャンマー国境では、今でも約100万人のロヒンギャが難民キャンプに暮らし、国際援助で命を繋いでいます。その現場を2人の学生記者が取材し、写真と文章で伝えます。



「処刑場からの生還」2019年8月 鶴 颯人撮影

遊心雑記

神と仏のラグビー

安齋 育郎 (国際平和ミュージアム名誉館長)

先年の暮れから年初にかけて、自宅の塀に現代版鳥獣戯画をモチーフに「兎さんチーム」と「蛙さんチーム」のラグビーの図をあしらいました。寒い中で、ざらざらの塀にねっとりしたペンキで滑らかな絵を描くのはなかなかの苦勞でしたが、描いている途中で通りがかりのご近所衆がいろいろと話しかけてこられて、楽しくもまた有意義なひと時でした。

鳥獣戯画は平安時代後期から鎌倉時代前期にかけて描かれたと言われますが、鳥羽僧正の作と伝えられるものの確証はなく、甲乙丙丁4巻に描かれているのも、兎、猿、馬、牛、犬、鶏、鹿、蛙などに加えて麒麟や龍や猿などの空想上の動物、そして人間など、実に多様です。

今回、わが家の塀の主人公は兎と蛙で、これには訳があります。

もともとの私の構想では、トナカイのそりに乗ってやって来たサンタクロースが、十二単を身にまとった紫式部にプレゼントを手渡すという「東西異文化交流」のデザインを考えていたのですが、あまりに珍奇なので

族から異論が出て、変更を余儀なくされました。

そこで、ラグビー人気にあやかって、「因幡の白兎」伝説で神に救われる「兎さん」を「神さまチーム」の象徴に、また、奈良の金峯山寺(きんぶせんじ)に伝承される説話(仏教をないがしろにした人間が蛙に変えられたが、仏法の方で金峯山寺で人間に戻される話)に因んで「蛙さん」を「仏さまチーム」の象徴にノミネートしました。

実は、塀には兎さんチームと蛙さんチームがラグビーに興じる姿に加えて、ノーサイド(試合終了)のあと兎さんと蛙さんが協力して餅を搗き、カラオケや宴会を楽しんだ挙句の果てに結婚式を挙げる絵が描かれています。

思いはただ一つ、中東方面での何やらきな臭い対立模様で幕開けした2020年が、「対立」ではなく「融合」の年であってほしいという願いです。



■ミュージアム概要■

開館時間：午前9時30分～午後4時30分 (入館は午後4時まで)

休館日：日曜日及び、祝日の翌日(日曜日が祝日の場合は開館、翌日が休館)

年末年始・年度末の大学が定める休館日 ※詳細はHPでご確認ください。

見学資料費(入館料)：大人400円(350円)、中・高生300円(250円)、

小学生200円(150円)()内は20名以上の団体料金

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う

開館に関する対応について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今後の展示・イベント企画を急遽延期もしくは中止させていただく可能性がございます。詳細は随時ホームページやTwitterにてご確認ください。

立命館大学国際平和ミュージアムだより

第27巻 第4号(通巻80号) 2020年3月18日発行

編集・発行 立命館大学国際平和ミュージアム

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL : 075-465-8151 / FAX : 075-465-7899

<https://www.ritsumeikan-wp-museum.jp/>



立命館大学
国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University



今後、特別展のご案内、ミュージアムだより等、国際平和ミュージアムより送付をご希望されない場合、また、送付先の住所変更等ございましたら、氏名・団体名、送付先住所、電話番号、FAX番号をご記入の上、国際平和ミュージアム(075-465-7899)へFAX送信ください。